

平成24年度第3回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成24年9月13日(木) 午後2時～4時30分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員 12名 傍聴者：なし
事務局：中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、館長補佐兼調査係長、資料係長、
花小金井図書館長、サービス係長、仲町図書館長、喜平図書館長

4 配布資料 資料は省略させていただきます。

5 議事

(1) 報告事項

① 図書館運営状況について

- ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)

(これまでの報告)

- 7月13日 子ども文庫40周年記念座談会 仲町公民館
- 7月22日 夏休み家族一日図書館員 全図書館
- 7月28日 子ども文庫40周年記念講演会「学校図書館は学校教育のインフラ」
高鷲忠美氏 中央図書館
- 8月15日 インターンシップ受入れ
首都大学東京(～21日) 嘉悦大学(～28日)
- 8月20日 夏休み図書館ボランティア体験講座 ～23日 中央図書館
- 9月13日 第3回図書館協議会

(今後の予定)

- 9月20日 蔵書点検及び図書館システム更新 ～30日 全図書館休館
- 10月17日、24日 児童文学紀行講座「絵本で旅するスペイン」 中央図書館
- 10月20日 ブックリサイクル 全図書館
- 10月30日 子ども文庫40周年記念講演会 「読書ではぐくむ子どもの想像力」
池田正孝氏 中央図書館
- 10月31日 学園東小ブックトーク
- 11月 8日 第4回図書館協議会

② 平成23年度月別貸出状況について(資料No.2)

貸出資料数は8月末までで682,023点である。前年同期が679,714点なので、ほぼ同様の点数となる。館別では仲町図書館の利用者が他館を利用しているため、各館とも増加し特に中央図書館の増加が多い。

登録者数については、新規登録者は減少傾向であるが、貸出者数は増加している。これまで利用した方が、多く利用している。

③ 広域利用市別貸出状況について（資料No.3）

例年どおり東村山市民の利用が多いが、西東京、東久留米市も増加傾向にある。

④ 市議会9月定例会について

9月議会では、関連で政和会の代表質問「小平市が目指す教育の姿を」の中で、『生涯学習の充実について来年度はどのような具体的な策を考えているのか』『公民館及び図書館の機能・運営の見直し、再編、統合の検討、また市民サービスの一環として無線LAN整備実施をやるべき』という質問があった。前者については、必要とされている施策として「レファレンスサービスの強化等により地域を支える情報拠点としての役割の充実を図ってまいりたい」と回答した。後者については、主に公民館が、第2次行財政再構築プランにおいて今後の役割について検討を行っており、その経過を回答した。図書館については、建替え後の仲町図書館について市民がより利用しやすい施設となるよう運営等について検討していると回答した。

⑤ 小平市一般会計補正予算（第2号）について

防災対策の強化、待機児童解消を図ること、及び23年度決算を踏まえた繰越金の整理を行うなどのために補正予算が組まれた。図書館に関係する部分では、エコダイラ予算として地区館の開架部分の照明器具を効率の良い安定器に交換する費用として、130万円を計上した。

⑥ ブックリサイクルについて（資料No.4）

今年度も10月、1月、2月にブックリサイクル事業を行う。対象資料は約3万3千冊を予定し、市報、ホームページで広報する。

⑦ 多摩都図書館共通利用カードの発行について（資料No.5）

この事業は平成9年6月から旧田無市立図書館と旧保谷市図書館との間で実施され、その後、平成12年6月から清瀬市立図書館が参画した。平成13年1月に田無市と保谷市とが合併した後も継続し、平成14年9月に東久留米市が、平成20年10月に東村山市が参画した。小平市も図書館システムの更新に合わせて、多摩六都図書館共通利用カードを発行する。また、これに伴い5市教育委員会で協定を締結する。

共通利用カードは、1枚の利用カードで多摩六都の各図書館を利用できるというものである。市民にとって、他4市の図書館を利用する際に、今までは、小平市立図書館の利用カードの他に他市のカードを作成する必要があったが、今後は各市の登録要件に基

づいて登録すれば、1枚のカードで利用できるようになる。また、共通利用カードには、シンボルマークと「多摩六都図書館カード」の文字を入れることになっている。

開始日は10月1日からで、旧カードに替えて発行する。しかしながら、既に発行されている現在の利用カードは、更新時期まで利用できるため、ここで急いで切り替える必要はない。

⑧ 小平市立図書館条例施行規則の一部改正について（資料No.6）

改正箇所は利用者の登録として、共通利用カードを発行すること、又は他4市発行の共通利用カードで登録できることに改めた。また、有効期間については年度でまとめ、カード番号を管理し更新していたが、今後は、更新時に新しいカードに替えないこと、他4市発行のカードも使用することから、登録日の翌日から5年とした。

さらに一旦発行した共通利用カードはそのまま使うことから、再発行の理由に「破損」を追加した。他に利用カード、申込書、変更届の様式を一部変更した。

⑨ 図書館ホームページのリニューアルについて（資料No.7）

システムの更新に併せ、ホームページも新しくなる。新機能、レベルアップした機能が追加されている。ホームページの切り替えについて、9月19日の閉館後から10月1日の10時頃までは、利用者メニューに係る機能を停止する。トップページのお知らせなど、それ以外のページの閲覧は可能であるが、蔵書検索については、図書館システムが停止し、返却処理ができないため、9月19日現在の状態での提供となる。

⑩ 市制施行50周年記念事業「郷土写真展」について（資料No.8）

市制施行50周年記念事業の1つとして、ルネこだいら展示室において、10月16日から21日まで開催する。今回の展示は、郷土写真展だけでなく、同じ会場で、公共交通のあゆみ、市民まつりの歴史、50周年記念映像の上映も同時に行う。

郷土写真は、テーマを設定し、過去と近年が対比できるような写真を130点ほど展示する。写真を通じて市制50年の歴史をたどりながら、小平市のまちの移り変わり、成長を振り返り、小平への愛着や親しみを感じてもらえればと考えている。

⑪ 仲町公民館・仲町図書館建替えに係る解体・改築工事の契約について

前回の協議会において、「本年度の早い時期に建築工事に着手する予定で進めていたが、契約に係る入札が不調となったことから、当初予定していた平成26年度第一四半期のリニューアルオープンが少し遅れる。」と伝えたが、その後、解体工事、建築工事、附帯設備工事を併せ入札を行ったところ、残念ながら再び入札が不調となった。原因を検証し、建築内容及び積算金額の見直しを行い、再度、契約事務を進めていく。12月議会では、契約締結の議案を提出できるよう努める。従って、リニューアルオープンの時期は未定で

あるが、できる限り早くリニューアルオープンできるよう、関係各課で協力し進めていく。
進捗状況については、次の協議会でも報告していく。

<報告事項についての質疑・応答>

- 委員：ブックリサイクルでも提供している寄贈本について、受入れる基準はあるのか。
- 事務局：雑誌、新聞、漫画類など受付していないものはあるが、蔵書に加えるかは、図書館に一任してもらうことを前提に寄贈を受けている。
- 委員：寄贈図書が大量にある場合には取りに来てもらえるのか。
- 事務局：持参が原則であるが、宅急便などを利用して送ってもらう場合もある。大量の場合、取りに行くこともあるが、その場で選定し図書館で活用可能なもののみ受領している。
- 委員：寄贈図書についての問い合わせは多いのか。
- 事務局：非常に多くある。
- 委員：ホームページ等に寄贈図書に関する基準を載せることはできないのか。
- 事務局：現在は、基準を知らせるということはないが、窓口、電話等で丁寧に対応している。
- 委員：図書館に持参された寄贈本を返却することはあるのか。
- 事務局：持ってきた本を返却することはない。
- 委員：寄贈する人はその本に愛着があり、よい本と思い寄贈するが、受け取る側はそう思わない場合もあり、そこをどう処理するかが難しい。
- 委員：寄贈図書を他の図書館に提供することもあるのか。
- 事務局：現在、蔵書の情報はインターネットを通して都立図書館を始め、他市の本も簡単に調べられる。相互貸借もあり借用も簡単に行える。また、都立図書館が音頭を取って、各市の必要な本、不要な本を情報交換するシステムを構築中である。
- 委員：寄贈図書を中心にブックリサイクルを行うのか。この時期に寄贈を受けるのか。
- 事務局：ブックリサイクルは図書館の所蔵している本を中心として行う。また、寄贈図書は年間を通じて受け付けている。
- 会長：夜のおはなし会の内容を詳しく教えてもらいたい。
- 事務局：夏休みの特別企画として親子で楽しんでもらうということで実施した。時間帯は午後6時から30分程度、夏なのでテーマはちょっと怖い話とし、他に紙芝居なども行った。
- 会長：親子限定であり、一般の方は入れないのか。
- 事務局：原則、親子であるが興味のある一般の方でも受け入れる場合もある。
- 委員：中央図書館の太陽光発電はその後どうなっているのか。
- 事務局：現在、環境保全課を通じて補助金を申請中である。その補助金の交付が決定してから発注ということになる。実際の工事は年明けぐらいを予定している。
- 委員：太陽光発電により中央図書館の電力は賅えるのか。
- 会長：太陽光発電は20キロワット程度の発電であるため、中央図書館の一部の電力を賅うこ

とになる。1階にモニターを設置し、発電の状況を分かりやすく伝えるなど啓発にも努めていきたい。

委員：仲町公民館・仲町図書館の建替えに係る解体・建築工事について9月議会で議決される予定だったが、これが3か月程度遅れているという認識で良いのか。

事務局：きっちり3か月といえない部分はある、ここでは正確に申し上げることはできない。

委員：今年の緑のカーテンの効果は数字として出ているのか。

事務局：現在、手元に数字はないが、緑のカーテンだけではなく照明の間引きや高効率照明への変更等を含めて節電を行っている。

委員：東京電力の値上げ分くらい賄えれば良いと思っている。

委員：共通利用カードの導入が他市と比べて遅くなったのはなぜか。

事務局：小平市民が他市を利用する割合が少なかったこと、また要望もなかったこと、図書館システムが対応できていないこと等があり様子を見ていたが、今回の図書館システムの更新で対応が可能となり導入に至った。

委員：西東京市になって多摩六都ではないように思うのだからどうか。

事務局：経緯としては五市になったときに「五都」にしてはという意見もあったが、多摩六都科学館など「多摩六都」の名称が定着しているものもあり、いろいろ協議した結果このままとなった。

委員：今まで細かな質問をしてきたが、今の図書館員はマニュアルどおりの処理をしていて何か考えるということをしなくて処理し、流しているような気がする。もう少し細かい事を立ち止まって、何かを考えるという機会を持ちながら仕事をしていただきたい。そういう意図でいつも質問をしている。

事務局：ご指摘いただいた点については、いつも持ち帰り担当者と検討している。頂いた意見を参考にしながら、仕事を進めていくように努めていく。

委員：図書を選択する場合、TRC（図書館流通センター）の新刊案内をどのくらい活用しているか。

事務局：職員に回覧などして、一つの判断材料としているが、選書は見計らい発注を主に、小平独自の基準で行っている。また、児童書については、参考にはしているが、必ず現物を見て、中身を読んで選書している。

委員：小平市の図書館はまだ見計らい本は置いているか。

事務局：200から300冊程度置いている。

委員：見計らい本を置いている、置いていないという公共図書館の情報はあるのか。

事務局：細かい情報はないが、東京都及びその近郊の図書館は見計らい本を置いている所が多いと聞いている。地方の予算規模の小さい図書館はカタログ等から購入しているようである。

委員：古本屋からの購入はしているか。

事務局：ここ数年は購入していない。

委員：上宿図書館の見学で桐朋小学校2年、子ども1人、保護者1人となっているが、図書館見学は学校、学年単位で行われるものではないのか。

事務局：公立の学校は、学校から図書館見学の申し込みがある。今回は、通学している私立の学校でそのような制度がなく、学校の課題で図書館見学の希望があり了承した。小平市に住んでいる方なら体制がとれる範囲で受けている。

委員：館内ポスターも情報伝達の手段としてあるが、掲示の基準はあるのか。

事務局：基本的には、国、都、市のポスターや市や教育委員会が後援しているものは掲示している。民間や個人等のものについてはスペースに限りがあることからお断りしている。

委員：文化的な催しなどは、比較的図書館を利用している人が関心を持っているので、ポスターをうまく活用できると良いのではないのか。

委員：小平市内の大学図書館の利用は考えていないのか。

事務局：現在、いろいろなところで大学図書館との連携が図られていることは聞いている。小平市内においては嘉悦大学が市民であれば利用できる。他の図書館とは相互利用はしていないが一つの課題と考えている。大学図書館を利用したい場合については、その大学にしかない資料であれば、大学からの了解を得た上で市から紹介状を発行して利用することが可能である。

委員：司書専門の職員がいなくなる。選書等、考え方をしっかり持って進めてもらいたい。

事務局：小平市は選書の基準があるので、しっかりと引き継いでいきたい。

委員：人事異動も含めて司書がいなくなっていく。司書のキャリアは大事にしたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

委員：児童書の中にティーンズというものがあるが、どのように選定しているのか。

事務局：ティーンズの予算の確保はなく、担当者が児童書、一般書の購入したものの中からティーンズに読んでほしい、進めたいという本を選んでティーンズ用の本にしている。

委員：システムや選書等は、継続性を生かしながらどのように改めて行くかが大事である。継続が中心になって基本線は動かず、周りのものが時代によって変わっていく。特に指定管理者などが入ってくると、そういうものがないがしろにされるので、基本線を忠実に継続していただきたい。

委員：資料選択について、過去の調査結果では、東京都内の図書館は独自のやり方をしているところが多い。

委員：最近はやングアダルト系の良い作品がたくさん出版されている。いろいろなツールを幅広く使い、選定していただきたい。

(2) 協議事項

なし

(3) その他

なし